



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社

コード番号 4082

URL <https://www.dkkk.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 井上 剛

問合せ先責任者(役職名) 財務経理部長

(氏名) 松本 克己

(TEL) 06-6206-3311

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,417	△24.1	982	△62.1	789	△69.7	446	△74.9
2020年3月期第3四半期	20,321	△3.3	2,590	△26.0	2,603	△27.2	1,777	△28.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 630百万円(△64.7%) 2020年3月期第3四半期 1,788百万円(△25.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	18.40	—
2020年3月期第3四半期	73.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	53,999	29,752	54.1
2020年3月期	51,201	29,531	56.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 29,191百万円 2020年3月期 28,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,900	△13.6	1,700	△45.4	1,500	△51.7	800	△65.9	32.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	24,400,000株	2020年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	120,471株	2020年3月期	156,043株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	24,261,743株	2020年3月期3Q	24,227,875株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	2020年3月期 第3四半期 連結累計期間 実績 (百万円)	2021年3月期 連結業績予想 (百万円)	2021年3月期 第3四半期 連結累計期間 実績 (百万円)	前年 同期比 (%) ※1	進捗率 (%) ※2
売上高	20,321	21,500	15,417	△24.1(↑)	71.7
触媒	12,171	12,600	9,217	△24.3(↑)	73.2
電子材料・酸素センサー	2,211	2,700	1,802	△18.5(↑)	66.8
ファインセラミックス	2,395	2,600	1,703	△28.9(↑)	65.5
耐火物・ブレーキ	2,198	2,200	1,567	△28.7(↑)	71.3
その他	1,344	1,400	1,127	△16.2(↑)	80.5
営業利益	2,590	700	982	△62.1(↑)	140.4
経常利益	2,603	700	789	△69.7(↑)	112.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,777	350	446	△74.9(↑)	127.5

※1 ()内は第2四半期連結累計期間の前年同期比からの改善状況

※2 2020年9月18日公表の連結業績予想(修正前)に対する進捗率

2020年の世界の自動車販売は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一時的に金融危機以降見られなかった水準にまで低下しましたが、中国では2月、その他の主要な市場では4月を底に、自動車販売台数の急速な回復が見られました。その結果、2020年の世界のライトビークルの販売台数は前年比14%減の7,766万台となりました。

当第3四半期連結会計期間(2020年10月1日～2020年12月31日)に入っても、世界的には自動車の販売動向は回復を続けておりますが、地域差が顕著になっています。また、世界的な経済活動の急回復に年末の貨物需要が重なったことから、海上物流に混乱が生じ、現時点もその影響が続いている状況です。

当社グループにおきましては、主力の自動車排ガス浄化触媒材料をはじめとする自動車関連製品の販売を中心に、新型コロナウイルス感染症拡大の深刻な影響を受けましたが、第1四半期連結会計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)を底に回復過程にあり、かねてから取り組んできました現地販売子会社による在庫販売により、想定を上回る自動車市場の急回復による需要増に応え、順調に売上高を伸ばしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)の売上高は、販売数量が前年同期比で24.2%減少した影響等により15,417百万円(前年同期比24.1%減、業績予想21,500百万円に対して進捗率71.7%)、営業利益は、販売数量の回復により982百万円(前年同期比62.1%減、業績予想700百万円に対して進捗率140.4%)、経常利益は、為替差損の計上等により789百万円(前年同期比69.7%減、業績予想700百万円に対して進捗率112.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は446百万円(前年同期比74.9%減、業績予想350百万円に対して進捗率127.5%)、となりました。

(注) 進捗率は、2020年9月18日公表の連結業績予想(修正前)と比較しております。

用途別の販売状況は、次のとおりであります。

(触媒用途)

当社グループの主力製品である自動車排ガス浄化触媒材料は、想定を上回る自動車市場の急回復による需要増に応え、当第3四半期連結会計期間の売上高は前年同期を上回りました。しかし、第2四半期連結累計期間に新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ売上高を補うところまで及ばず、当第3四半期連結累計期間の売上高は減収となりました。

これらの結果、触媒用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、9,217百万円(前年同期比24.3%減、業績予想12,600百万円に対して進捗率73.2%)となりました。

(電子材料・酸素センサー用途)

電子材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、電子部品業界全体の生産調整の影響を受け、当第3四半期連結累計期間では減収となりました。

二次電池材料は、韓国における支援策の終了などがあり、定置型蓄電池(ESS)市場で伸び悩みました。

酸素センサー材料においても、自動車販売市場回復の需要を取り込み、当第3四半期会計期間では前年同期を上回りましたが、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ売上高を補いきれず、当第3四半期連結累計期間では減収となりました。

これらの結果、電子材料・酸素センサー用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,802百万円(前年同期比18.5%減、業績予想2,700百万円に対して進捗率66.8%)となりました。

(ファインセラミックス用途)

当社グループが次世代主力製品と期待する燃料電池材料は、各国の持続可能エネルギー推進政策によるプラス影響に加え、新型コロナウイルス禍においても、電力の持続的な供給が求められるデータセンター、物流センター、官公庁へ固体酸化物形燃料電池を導入する動きは引き続き活発で、前年同期比で販売数量を伸ばしました。一方で、品種構成の変化に伴う平均販売価格の低下により、前年同期比で売上高は減少しました。

キッチンセラミックス材料ならびに歯科材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、需要の低迷が続いております。また、産業用構造部材につきましても、生産活動を維持するために必要な部材については、需要回復の兆しが見られるものの、積極的な設備投資については業界により温度差が見られます。

これらの結果、ファインセラミックス用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,703百万円(前年同期比28.9%減、業績予想2,600百万円に対して進捗率65.5%)となりました。

(耐火物・ブレーキ用途)

軽量かつ高強度の高級鋼材を得意とする欧米、日本、韓国の2020年粗鋼生産量は、自動車をはじめとする輸送機用途の鉄鋼需要の落ち込みを色濃く反映し、マイナス成長となりました。これに伴い、高級鋼材を生産する高度設備の部材に使用される当社の耐火物の売上高は減少しました。

ブレーキ材においても、自動車販売台数の減少により、売上高は減少しました。

これらの結果、耐火物・ブレーキ用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,567百万円(前年同期比28.7%減、業績予想2,200百万円に対して進捗率71.3%)となりました。

(その他用途)

アルミニウム配管のろう付に使用されるセシウムフラックスは、家電用は堅調に推移したものの、自動車用は販売台数減少の影響を受け、売上高は前年同期比で減少しました。セシウムフラックス以外の売上高についても、足元では新型コロナウイルス感染症拡大による需要減からの回復傾向にあるものの、前年同期比で減収となりました。

これらの結果、その他用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,127百万円(前年同期比16.2%減、業績予想1,400百万円に対して進捗率80.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は53,999百万円で、前連結会計年度末に比べ2,797百万円増加しました。これは主に、有価証券の増加(600百万円)、有形固定資産の増加(3,708百万円)、製品の減少(569百万円)、原材料及び貯蔵品の減少(789百万円)によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は24,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,575百万円増加しました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)の増加(3,075百万円)、短期借入金の増加(408百万円)、支払手形及び買掛金の減少(288百万円)、未払法人税等の減少(528百万円)によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は29,752百万円で、前連結会計年度末に比べ221百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加(197百万円)によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末56.6%から54.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2020年9月18日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想を次の通り修正いたします。

2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 21,500	百万円 700	百万円 700	百万円 350	円 銭 14.44
今回発表予想(B)	22,900	1,700	1,500	800	32.97
増減額(B-A)	1,400	1,000	800	450	
増減率(%)	6.5	142.9	114.3	128.6	

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,488,522	8,628,932
受取手形及び売掛金	5,056,773	5,201,456
有価証券	500,000	1,100,000
製品	5,236,106	4,666,583
仕掛品	2,125,207	1,977,421
原材料及び貯蔵品	3,364,163	2,574,821
その他	2,247,887	2,069,107
流動資産合計	27,018,660	26,218,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,153,659	4,977,210
機械装置及び運搬具(純額)	4,365,750	5,994,830
土地	1,752,062	2,053,501
建設仮勘定	6,445,723	8,507,300
その他(純額)	559,706	453,050
有形固定資産合計	18,276,902	21,985,893
無形固定資産	1,169,147	1,081,718
投資その他の資産	4,737,128	4,713,205
固定資産合計	24,183,178	27,780,816
資産合計	51,201,838	53,999,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,026,835	737,887
短期借入金	1,600,000	2,008,019
1年内返済予定の長期借入金	2,768,586	2,966,750
未払法人税等	550,955	22,109
賞与引当金	303,444	166,503
その他	1,351,512	1,402,044
流動負債合計	7,601,334	7,303,315
固定負債		
長期借入金	13,946,250	16,823,500
退職給付に係る負債	1,298	1,348
その他	121,280	117,998
固定負債合計	14,068,828	16,942,846
負債合計	21,670,163	24,246,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,100	787,100
資本剰余金	1,121,672	1,135,934
利益剰余金	27,002,402	27,012,119
自己株式	△57,901	△44,701
株主資本合計	28,853,273	28,890,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,628	371,809
為替換算調整勘定	114,869	43,121
退職給付に係る調整累計額	△147,645	△113,477
その他の包括利益累計額合計	141,852	301,453
非支配株主持分	536,549	561,073
純資産合計	29,531,675	29,752,978
負債純資産合計	51,201,838	53,999,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	20,321,650	15,417,913
売上原価	14,502,400	11,276,575
売上総利益	5,819,250	4,141,338
販売費及び一般管理費	3,228,682	3,158,538
営業利益	2,590,567	982,799
営業外収益		
受取利息	64,374	54,785
受取配当金	16,619	14,211
助成金収入	4,383	7,902
その他	73,085	39,248
営業外収益合計	158,463	116,148
営業外費用		
支払利息	29,365	39,805
為替差損	89,815	255,545
持分法による投資損失	23,980	11,357
その他	2,103	2,974
営業外費用合計	145,264	309,683
経常利益	2,603,766	789,265
特別損失		
固定資産除却損	12,662	10,893
特別損失合計	12,662	10,893
税金等調整前四半期純利益	2,591,103	778,371
法人税、住民税及び事業税	814,427	285,675
法人税等調整額	△6,602	21,545
法人税等合計	807,824	307,220
四半期純利益	1,783,279	471,150
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,791	24,758
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,777,487	446,392

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,783,279	471,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,607	197,180
為替換算調整勘定	△18,838	△71,982
退職給付に係る調整額	1,326	34,168
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	5,096	159,366
四半期包括利益	1,788,375	630,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,786,318	605,993
非支配株主に係る四半期包括利益	2,057	24,523

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。